

次期富山市地域福祉計画（令和6年度～令和10年度）（素案）の概要

地域福祉をめぐる近年の状況

- 人口減少・高齢化社会の進展に伴う地域社会の様々な問題
 - ⇒ 家族や近所の関係の希薄化
 - ・ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯増・孤立化
 - ・複合・複雑化した問題の顕在化（介護や育児などの家族の負担増など）
 - ・制度の狭間にある問題の顕在化（8050問題、ひきこもり、ヤングケアラーなど）
- 社会福祉法の改正（R2年6月）
 - ⇒ 地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制の構築（重層的支援体制整備事業の創設）

地域福祉における課題の検証

アンケート調査（令和5年7月）、地域懇談会（令和5年8月）を通じて、地域福祉における課題を検証

- 地域福祉の担い手不足
- ボランティア活動等に参加したい人が活動しやすい環境づくりが必要
- 団体活動の構成員の高齢化、後継者や指導者が育たない
- 地域住民の関係性の希薄化による団体活動の困難化・支援者の負担増
- 地域福祉の活動団体と地域住民・各種団体と交流促進が必要
- 住民情報の取扱いや課題解決事例の共有・活用方法の検討が必要
- 住民同士のつながり・支え合いが必要
- 悩みや不安を感じた場合に、より専門的で複雑な相談ができるよう、相談体制の周知や啓発が必要
- 地域における支援者や支援機関の周知、役割分担の明確化が必要

人づくり

体制づくり

サービス等に
つなげる相談支援

次期計画の考え方・体系

